



第78回

黒潮に 恵み届ける 森づくり

全国植樹祭 こうち 2028

基本計画（素案）



高知県
Kochi Prefecture

第1章 開催概要

1. 開催意義	1
2. 開催理念	2
3. 高知県の特色を活かした大会の基本方針	3
4. 大会テーマ	4
5. シンボルマーク	4
6. 大会ポスター原画	4
7. 開催時期	5
8. 主催	5
9. 開催規模	5
10. 開催会場	5

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方	7
2. 式典演出計画	7
3. 式典運営計画	7
4. 式典進行計画	8

第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方	9
2. お手植え計画	9
3. お手播き計画	12
4. 代表者記念植樹計画	13
5. 招待者記念植樹・緑化行事計画	14
6. 地域植樹計画	14

第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方	15
2. 施設配置計画	15
3. 主要施設計画	16
4. 案内・誘導計画	17
5. 飾花計画	18
6. 電気・給排水・通信施設計画	18

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方	19
2. 招待計画	19
3. 招待者行動計画	20
4. 受付計画	21
5. 特別接伴計画	21
6. 作品御覧計画	21
7. 御懇談計画	22
8. 会場内動線計画	22
9. 会場おもてなし計画	23
10. 湯茶接待計画	24
11. 医療・衛生計画	24
12. 消防・防災・警備計画	25
13. 実施本部計画	26
14. 研修・リハーサル計画	27
15. 雨天時・強風時対応計画	27

第6章 宿泊・輸送計画

1. 基本的な考え方	28
2. 宿泊計画	29
3. 輸送計画	29
4. 運行管理体制・緊急時対応	30
5. 道路交通対策	30

第7章 記念事業・関連事業計画

1. 基本的な考え方	31
2. 記念事業	31
3. 関連事業	32

第8章 広報・協賛計画

1. 基本的な考え方	33
2. 広報計画	33
3. 協賛計画	34

1. 開催意義

基本構想で決定済

高知県は、北は日本三大カルストのひとつである四国カルストを有する四国山地に、南は東西に広がる太平洋を臨む自然豊かな県です。県土の84%を占める豊富な森林から流れ出す水は、やがて集まって一つの流れとなり、豊穡の川として太平洋へと注いでいます。

その代表的な河川には、最後の清流として全国的に知られる四万十川、近年「仁淀ブルー」と呼ばれて親しまれている仁淀川、県内最大の穀倉地帯である香長平野に恵みをもたらす物部川が挙げられます。海岸部に至る複雑で多様な地形・地質構造と温暖多雨の気候は、全国有数の森、川、海の県として高知県の自然環境の基盤を形成し、それらの自然環境特性を活かした農林水産業が発展しています。

このうち、林業については、本県の豊富な森林資源を余すことなく活用し、中山間地域の雇用の確保や所得の向上につなげていくことを目指して、平成21年に策定した県経済を根本から元気にするためのトータルプラン「高知県産業振興計画」に林業分野を位置付け、加工体制の整備や外商活動の強化といった川中・川下側の取組と、施業地を集約した森の工場の推進や高性能林業機械の導入など川上側の取組を車の両輪として進め、原木生産の拡大に取り組んでいます。

また、林業の持続的かつ健全な発展の礎となる森林と、里川海の豊かな恵み、これらの恵みが支える地域の営みを次世代へとつなげていくため、令和3年に「高知県環境基本計画第五次計画」を策定し、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現という3つの視点から、持続可能な社会の実現を目指す取組を進めています。

こうした中、令和10年に第78回全国植樹祭が開催されることが内定しました。本県での開催は昭和53年以来、50年ぶり、2回目となります。

この基本計画は、第78回全国植樹祭の開催を通じて、地域の緑化運動の促進と、森林資源の循環利用の意識を高める絶好の機会とし、高知県ならではの特色ある有意義な大会となるよう、開催理念や開催内容などの基本的事項を定めるものです。

高知県における全国植樹祭の開催状況

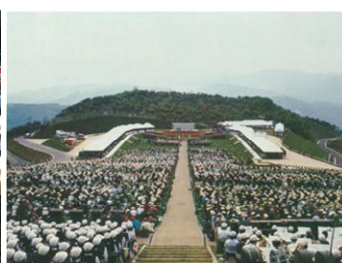
昭和53年（1978年）5月21日、現在の香美市土佐山田町にある県立甫喜ヶ峰森林公園において、天皇陛下をお迎えし、「防災も緑できずくふるさとづくり」を大会テーマに、第29回全国植樹祭を開催しました。

当日は、天候にも恵まれた中、天皇陛下がスギ2本、ヤマモモ1本をお手植えになるとともに、ヤナセスギとトサミズキの種子をお手播きになられました。

また、当日は、参加者により、マツ、スギ、ヒノキ等が植樹されました。



天皇陛下によるお手植え・お手播き

式典会場
(県立甫喜ヶ峰森林公園)招待者による
記念植樹

2. 開催理念

基本構想で決定済

- ① 災害や地球温暖化の防止に重要な役割を果たすとともに、里・川・海を潤し、私たちの暮らしを支える森林を次代へ引き継ぐよう、街や山村に住む一人ひとりが自然と共生しながら森林の役割を理解し守る行動を促していきます。
- ② 森林資源の循環利用が進んで脱炭素社会の実現に貢献していくよう、森林整備と再造林をその担い手の確保とともに推進していきます。

高知県は、四国南部に位置し、四国山地や太平洋に囲まれ、変化に富む美しい自然環境を有しています。県土の約84%を森林が占める全国一の森林県で、温暖な気候と豊富な降水量に恵まれた環境の下、藩政・明治時代から植林が推進されてきました。なかでも日本三大スギ美林の一つで、県木でもある馬路村の魚梁瀬スギや四万十川流域のヒノキに代表される豊かな森林資源は、古くから地域の経済や文化、住民の暮らしを支えてきました。

森林は木材供給のみならず、水源涵養、土砂災害防止、地球温暖化の抑制、生物多様性の保全など多様な公益的機能を持ち、県民の暮らしや産業に欠かせない大切な財産です。しかし近年は気候変動による豪雨が増加し、山地災害が深刻化しているため、適切な森林整備の継続が不可欠となっています。

こうした中、高知県では平成15年に全国に先駆けて「森林環境税」を創設し、県民みんなで森を守っていく森林保全活動を展開してきました。また、11月11日を「こうち山の日」と定め、森林保全活動への参加や、山を守り育て次代へと引き継いでいくよう理解促進に取り組んでいます。

本県は約59万ヘクタールの森林を有し、そのうち約39万ヘクタールの人工林は8割以上が利用期に達しています。平成21年度から高知県産業振興計画の取組を開始し、原木生産量は平成22年の40万4千立方メートルから、令和4年には73万6千立方メートルへと増加し、森林資源の活用が大きく進展しています。その一方で、再造林率は約4割にとどまっていることから、令和5年に「再造林推進プラン」を策定し、森林の有する公益的機能の発揮や、2050年カーボンニュートラルの実現への貢献、また将来的な人工林資源の確保に貢献することを基本目標に、再造林率70%を目標に官民が連携して取り組んでいます。

また、県土の約9割が中山間地域であり、多くの県民がその地に暮らし、豊かな自然環境が存在しています。令和6年3月策定の「高知県中山間地域再興ビジョン」のもと、中山間地域の再興と人口の維持・早期反転、安定化を図り、県全体の持続的発展につながる取組を推進していきます。

このような状況を踏まえ、森林は私たちの暮らしや林業の営みになくてはならない大切な財産であることを再確認し、「伐って、使って、植えて、育てる」という循環の中で、次の世代へと引き継いでいくことが重要です。このため、開催理念の下、「第78回全国植樹祭」を開催します。

3. 高知県の特色を活かした大会の基本方針

基本構想で決定済

- (1) 全国植樹祭の開催を契機として、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用の意義と木の良さを普及啓発し、子どもから大人までの幅広い世代の方たちによる森林保全や緑化活動への参加と木材利用につなげる大会とします。また、「再造林推進プラン」の取組を着実に推進していきます。
- (2) 高知県の豊かな自然と歴史、文化、食の魅力を全国に向けて発信するとともに、全国植樹祭に参加される方々をおもてなしの心でお迎えし、「元気で豊かな、そしてあったかい高知県」を実感いただける大会となるよう努めます。



千本山保護林
(魚梁瀬スギ)



四万十川



UFOライン (町道瓶ヶ森線)



高知城



高知県イメージキャラクター
くろしおくん

4. 大会テーマ

全国から応募があった1,510点の作品の中から選定しました。

黒潮に 恵み届ける 森づくり

作者：^{ぬまた しんや}沼田 慎也 さん（東京都在住） ※住所は応募時

【選定理由】

高知県民が身近に感じる「黒潮（くろしお）」が、雄大な広がりを受け継がれていく自然の姿をイメージさせ、森・里・川・海を通じて恵みが巡る関係性を想起させる。こうした循環の根幹をなす豊かな森づくりの重要性が示され、本大会の開催理念を表現した作品となっている。

5. シンボルマーク

全国から応募があった345点の作品の中から選定しました。

作者：^{しゅうの あかり}秀野 明理 さん（兵庫県在住） ※住所は応募時



【選定理由】

中央に高知県のイメージキャラクターであるくろしおくんを配置し、その背景に沈下橋やゆずを描くことで高知県らしさを表現している。また、森・川・海のつながりと植樹の場面により、自然の恵みの循環を想起させ、開催理念を表現した作品となっている。

6. 大会ポスター原画

調整中

高知県内の小中学校及び高等学校などの児童・生徒から応募があった●●点の作品の中から選定しました。

今後公募
令和9年1月
決定予定

タイトル:「●●●●」

作者: ●●●● さん

【選定理由】

.....

7. 開催時期

令和10年（2028年）春季

8. 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
高知県

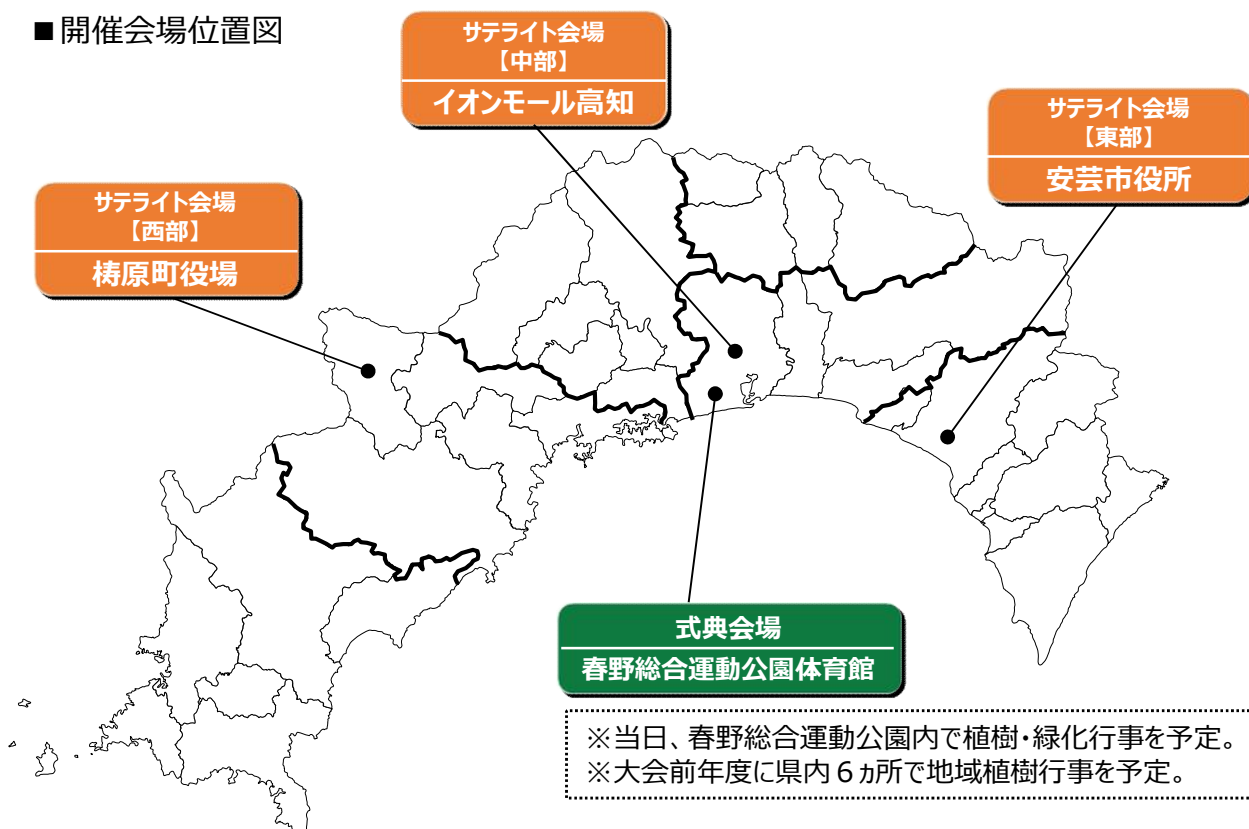
9. 開催規模

県内外から参加する招待者、協力者・スタッフを含め、3,300人程度の規模で開催します。

区分	参加予定者数	内 訳
中央特別招待者	30 人	国務大臣、(公社)国土緑化推進機構会長 等
特別招待者	550 人	国関係者、被表彰者、市町村長 等
一般招待者	1,220 人	他県招待者、県関係者、市町村関係者、 学校関係者、森林・林業・緑化関係団体、 森林ボランティア、公募招待者 等
実施本部員・協力員等	1,500 人	実施本部員、協力員、出演者 等
合 計	3,300 人	

10. 開催会場

■ 開催会場位置図



(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事を実施します。また、各種の展示PR等を行う「おもてなし広場」を隣接地に設定し、参加者を歓迎します。

◆高知県立春野総合運動公園 体育館（高知市春野町）



高知県立春野総合運動公園は、JR高知駅から南へ約10kmの都市部に位置し、体育館の他に陸上競技場や屋内運動場なども備えています。同敷地内に、いこいの広場や中央貯水池が所在しています。

屋内施設であるため、荒天時の式典会場は別に設けません。

(2) 植樹会場・緑化行事会場

調整中

県内外の参加者が記念植樹・緑化行事を行う会場を春野総合運動公園内に設置します。また、令和9年度に県民参加による各地域での植樹（地域植樹）を行います。

区分	時期	場所
記念植樹 緑化行事	令和10(2028)年	高知県立春野総合運動公園 (中央貯水池北側敷地、いこいの広場)
地域植樹	令和9(2027)年	県内6カ所

(3) サテライト会場

より多くの県民と開催理念を共有し、全国植樹祭の開催効果を高めるため、サテライト会場を県内に設置します。サテライト会場では式典の様態を中継するほか、各種のPR展示等を行います。

会場名	所在地
【東部会場】 安芸市役所	安芸市
【中部会場】 イオンモール高知	高知市
【西部会場】 梶原町役場	梶原町



(安芸市役所)



(イオンモール高知)



(梶原町役場)

1. 基本的な考え方

基本構想で決定済

式典行事は、次の事項を基本として実施します。

- (1) 参加者が開催理念を共有するとともに、心に残る内容の植樹祭とします。
- (2) 式典は、簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- (3) 県内外、子供から高齢者、障がいのある人等、できる限り多くの皆さまや、大会に賛同いただいた企業・団体等が参加できるよう配慮します。

2. 式典演出計画

式典の構成は、「プロローグ」「式典」「エピローグ」の3部構成とします。

区分	演出テーマ	内容
プロローグ	調整中	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者を歓迎する気持ちを表現する内容とします。 ○高知県の豊かな自然や文化・歴史、森林・林業・木材産業の紹介等を行います。
記念式典		<ul style="list-style-type: none"> ○天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を行います。 ○開催理念や大会テーマを分かりやすく表現するものとします。
エピローグ		<ul style="list-style-type: none"> ○参加者を歓送し、今後につながるメッセージを全国に発信する内容とします。

3. 式典運営計画

調整中

式典運営は、次の事項を基本とし、高知県らしさを感じていただける運営を行います。

- (1) 式典の運営は、参加者の安全性や快適性に十分配慮し、緑の少年団やボランティア等の協力を得ながら行います。
- (2) 司会者、アシスタント、式典音楽隊の出演者等については、地元団体をはじめ県内の関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。
- (3) 危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成し、研修を行います。

4. 式典進行計画

調整中

時間	区分	項目	進行内容
	招待者入場		本県PR映像放映、プログラム案内等
		開催市長あいさつ	
45分程度	プロローグ	プロローグアトラクション	○参加者を歓迎する気持ちを表現 ○高知県の豊かな自然や文化・歴史、森林・林業・木材産業の紹介
		記念式典の御案内	
60分程度	記念式典	天皇皇后両陛下 御着席	
		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌独唱	
		主催者あいさつ	大会会長（衆議院議長）、高知県知事
		天皇陛下のおことば	
		表彰	緑化功労者などへの表彰
		苗木の贈呈	緑の少年団から、農林水産大臣と環境大臣に苗木を贈呈
		天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き	
		代表者記念植樹	県内外特別招待者による植樹
		大会テーマの表現	アトラクションにより大会テーマを表現
		大会宣言	国土緑化推進機構理事長
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
		閉会のことば	高知県議会議長
		天皇皇后両陛下 御退席	
20分程度	エピローグ	エピローグアトラクション	参加者を歓送し、今後につながるメッセージを全国に発信

1. 基本的な考え方

基本構想で決定済

植樹行事は、次の事項を基本として実施します。

- (1) 将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や地域の特性に適した樹種を選定します。
- (2) 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものをを使用することを基本とします。また、スクールステイ等により、苗木づくりの段階から多くの方々に参加していただきます。
- (3) 県民の皆さまとの協働による森林づくり活動の拡大につなげていく契機とするため、できる限り多くの県民の皆さまに参加していただけるよう配慮します。

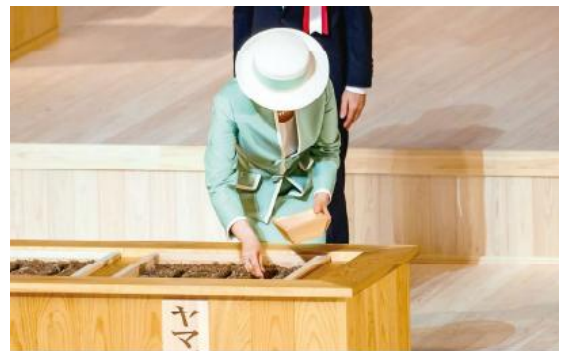
2. お手植え計画

基本構想で決定済

- (1) 天皇皇后両陛下に、お手植え、お手播きを賜ります。その樹種については、本県の気候風土や地域の特性に適した樹種で、県民の皆さまに親しみのあるものを選定します。
- (2) お手植えされた記念樹は、第78回全国植樹祭の開催を記念し、県土を育む豊かな森林づくりのシンボルとして大切に管理・育成していきます。



天皇陛下お手植え（第74回全国植樹祭岡山大会）



皇后陛下お手播き（第74回全国植樹祭岡山大会）

■ 天皇陛下お手植え樹種（3種）

スギ（魚梁瀬（やなせ）杉）

【高知県の県木】

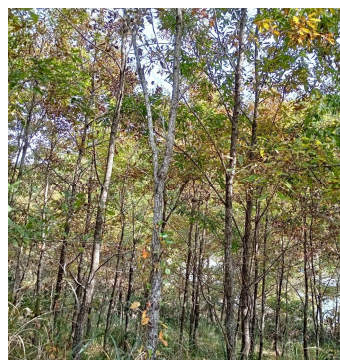
- ・魚梁瀬杉は、安芸郡馬路村魚梁瀬地区で生産されていた地域品種であり、きめ細かい木目や品質の良さから県内外で活用されてきました。
- ・安土桃山時代には、長宗我部元親が豊臣秀吉に魚梁瀬杉を献上し、その優れた特性が当時から高く評価されました。
- ・昭和53年に開催された第29回全国植樹祭で昭和天皇がお手播きされた樹種です。



クヌギ

【高知県の里山林を構成する代表的な樹種】

- ・県内の里山林を構成する主要な広葉樹であり、古くは薪炭材として植栽されるとともに、落ち葉や木の実が生物多様性の保全に寄与するなど、森林の公益的機能の充実に貢献しています。
- ・中山間地域における有望な産物であるしいたけ等の原木として利用され、県の特産林産業を支えています。



ウバメガシ

【高知県が生産量日本一である備長炭の原料】

- ・炭の中で特に高品質な備長炭の原料であり、高知県産のウバメガシから作られた土佐備長炭は高密度で締まりが良く、日本三大備長炭の一つに数えられています。
- ・潮風に強いいため、高知県内の海岸沿いに広く自生しています。



■ 皇后陛下お手植え樹種（3種）

ヒノキ（少花粉）

【高知県の林業における主要樹種】

- ・高知県の林業や木材産業を支える樹種であり、県内の人工林のおよそ6割を占めています。
- ・高知県産のヒノキは、古くから「土佐ヒノキ」等と呼ばれており、材の芯の鮮やかな赤みと強い香り、高い耐久性が特徴です。
- ・県内では花粉の少ない苗木を生産し、花粉症対策に取り組んでいます。



ヤマモモ

【高知県の県花】

- ・高知県の海岸線沿に広く自生し、春先に花弁のない小さな花が咲き、梅雨どきに暗紅色で甘酸っぱく美味しい実がなります。
- ・昭和53年に開催された第29回全国植樹祭で昭和天皇がお手植えされた樹種です。



ミツマタ

【土佐和紙の原材料】

- ・国内の三大和紙と呼ばれる土佐和紙の原材料の一つです。
- ・黄色の美しい花を咲かせることから、観賞用としても親しまれています。
- ・古くから高知県の山間部で生産されており、現在でも、大豊町やいの町、仁淀川町、梶原町等の一部地域で栽培されています。



3. お手播き計画

- (1) 天皇皇后両陛下のお手播きは、お手播き箱へそれぞれ2種の播種とします。
- (2) お手播きされた種子から育成した苗木は、高知県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配布します。

■ 天皇陛下お手播き樹種（2種）

ヒノキ（少花粉）

【高知県の林業における主要樹種】

- ・高知県の林業や木材産業を支える樹種であり、県内の人工林のおよそ6割を占めています。
- ・高知県産のヒノキは、古くから「土佐ヒノキ」等と呼ばれており、材の芯の鮮やかな赤みと強い香り、高い耐久性が特徴です。
- ・県内では花粉の少ない苗木を生産し、花粉症対策に取り組んでいます。



ビロードムラサキ

【牧野富太郎博士命名の「土佐の誇り」】

- ・高知県内では一般的に見られるものの、国内では絶滅危惧Ⅱ類に認定されており、県外では極めてまれな種となっています。
- ・初夏に薄紫色の花を咲かせ、葉裏には星状毛が密生し触感がビロード（ベルベット）のようであることが名の由来です。
- ・牧野富太郎博士が五台山周辺で採集した標本をもとに命名し、新種として発表しました。著書では「土佐の誇り」と記しており、学名に「高知」が含まれる唯一の種です。
学名：Callicarpa kochiana



高知県立牧野植物園提供

■ 皇后陛下お手播き樹種（2種）

スギ（少花粉）

【高知県の林業における主要樹種】

- ・高知県の林業や木材産業を支える樹種であり、ヒノキに次いで県内の人工林面積を占めています。
- ・昭和53年に開催された第29回全国植樹祭で昭和天皇がお手播きされた樹種です。
- ・県内では花粉の少ない苗木を生産し、花粉症対策に取り組んでいます。



トサミズキ

【名前に「トサ」を冠する高知県の固有種・高知市の花】

- ・高知県の蛇紋岩地に分布し、春先に小さな黄色の花を咲かせます。
- ・高知県の山地では多く見られますが、国内では準絶滅危惧種に指定されている種です。
- ・昭和53年に開催された第29回全国植樹祭で昭和天皇がお手播きされた樹種です。



高知県立牧野植物園提供

4. 代表者記念植樹計画

調整中

- （1）特別招待者の代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- （2）場所は、特別招待者席前で行うこととします。

5. 招待者記念植樹・緑化行事計画

調整中

記念植樹に加え、苗木を各地域へつなげることで、県内全体の緑づくりに向けた共通のイメージを育むプログラムを実施します。

- (1) 春野総合運動公園内において、一部の招待者が記念植樹を行います。
- (2) その他の招待者は、苗木を県内各地域に見立てたエリアに配置するプログラムに参加し、高知市から県内全域へ緑が広がる様子を象徴的に表します。植樹祭終了後には、苗木を県内各地域へ届け、それぞれの地域での緑化活動につなげていきます。
※配置方法や内容については実施計画を策定する中で調整します。
- (3) 高知県の気候風土に適した樹木を使用します。
- (4) 児童・生徒が育てた苗木も活用します。

(招待者記念植樹・緑化行事の樹種)

会場名（実施内容）	主な樹種
春野総合運動公園 ・ 中央貯水池北側敷地（記念植樹） ・ いこいの広場又は運動広場（緑化行事）	アコウ、アラカシ、イロハモミジ、ウバメガシ、エゴノキ、エノキ、キシツツジ、クスノキ、クヌギ、ケヤキ、コナラ、サカキ、シキミ、シャリンバイ、スギ、スダジイ、トサミスギ、トベラ、ヒノキ、ビロードムラサキ、ミツマタ、ヤブツバキ、ヤマザクラ、ヤマモモ

6. 地域植樹計画

調整中

- (1) 令和9年度に県民参加による地域での植樹（地域植樹）を県内6カ所で行います。
- (2) 高知県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。
- (3) 児童・生徒が育てた苗木も活用します。
- (4) 市町村と連携したイベントも併催し、幅広い世代の県民の皆さまに参加していただきます。

時期	場所（予定）
令和9年（2027年）	調整中

基本構想で決定済

1. 基本的な考え方

会場整備等については、次の事項を基本として実施します。

- (1) できる限り自然環境に負荷を与えないように配慮するとともに、既存施設の活用など経費節減を図ることを基本とします。
- (2) 設置する構造物等には、県産木材を積極的に使用します。
- (3) 全ての招待者が安全かつ円滑に参加できるよう、ユニバーサルデザインに配慮します。
- (4) 会場レイアウトや構造物等については、安全性や機能性を考慮し、全ての招待者が安心して快適に参加できるよう配慮します。
- (5) おもてなし広場を設置し、招待者が安心して快適に過ごせるよう、総合案内所や湯茶接待所、救護所を配置するとともに、高知の森林環境保全活動や観光・県産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内、地場産物等を取りそろえた物産提供ブース等を関係団体の協力により設置・運営します。

2. 施設配置計画

会場は、式典・本部エリア、植樹会場、緑化行事会場、おもてなし広場、入場チェックエリア等にゾーン分けします。

調整中

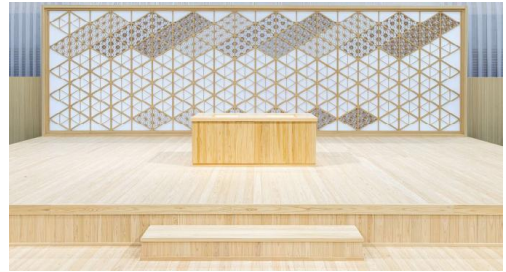
3. 主要施設計画

調整中

(1) 御座所^{ござしょ}

御座所は、大会の開催理念や基本方針を表現し、「高知らしさ」が感じられるデザインとします。

-
-
-



第74回全国植樹祭（岡山大会）

調整中

御座所のイメージ

(2) 会場内工作物

原則として県産木材を使用し、安全性・経済性及び周囲の景観、利用後の活用に配慮したものにします。



木製ベンチ（第74回全国植樹祭岡山大会）



木製プランターカバー（第75回全国植樹祭埼玉大会）

（大阪・関西万博「大屋根リング」材の再利用）

大阪・関西万博のシンボル「大屋根リング」に使用された木材の約4割が本県産であることから、万博協会から、大屋根リング解体後のCLTパネル及び柱を無償で譲り受け、木製のモニュメント等に活用することで、森林資源の循環利用と県内の林業・木材産業の魅力を全国に発信します。

4. 案内・誘導計画

調整中

- (1) 招待者が安全かつ円滑に式典行事や植樹行事等に参加することができ、各施設への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- (2) 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、視認性の良い位置、高さに設置します。
また、ピクトサイン（絵文字）等を使用します。
- (3) 案内サインには、県産木材のほか、再利用可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。

設置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示した標示板の設置
	誘導	招待者動線上に各エリア、施設等に誘導する標示板の設置
	注意事項	招待者動線上に遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等の標示板の設置
式典会場	座席	<ul style="list-style-type: none"> ・中央特別招待者は、各座席に名札の貼付 ・特別招待者入口に座席配置表の標示板の設置 ・一般招待者席は、付近に座席配置表の掲示板の設置
	会場案内図	会場内に現在地の表示を含む、全体図の標示板の設置
植樹会場	植樹地誘導	招待者動線上に植樹地に誘導する標示板の設置
おもてなし広場	誘導	招待者動線上に各エリア、施設等に誘導する標示板の設置
輸送バス	誘導	会場周辺の動線に従い、バスを招待者乗降位置や駐車場に誘導する標示板の設置

5. 飾花計画

調整中

会場周辺の飾花は、県内産の花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置します。

設置区域	内容
式典会場	各エリアの区分や招待者の動線を明確にするとともに、会場の雰囲気を引き立てるよう飾花を設置
バス乗降場	色鮮やかな飾花で招待者を歓迎するとともに、招待者の安全で円滑な誘導ができるよう飾花を配置
入場ゲート周辺	招待者の安全で円滑な誘導ができるよう飾花を配置



飾花の様子（第75回全国植樹祭埼玉大会）

6. 電気・給排水・通信設備計画

調整中

(1) 電気設備計画

既存設備で不足が生じた場合は、仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

(2) 給排水計画

水は施設内より給水し、排水は回収後、適正に処理をします。

(3) 仮設トイレ計画

式典会場、おもてなし広場などに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分に配慮します。

(4) 通信設備計画

運営を円滑に行うため、実施本部等に臨時電話を設置するほか、携帯電話、トランシーバーなどの無線通信機器を適正に配置します。



電気設備（第75回全国植樹祭埼玉大会）

1. 基本的な考え方

基本構想で決定済

運営計画は、次の事項を基本として実施します。

- (1) 全国からの招待者を高知県らしい「おもてなしの心」でお迎えし、開催の意義や理念を広く発信する場とします。
- (2) 全国植樹祭の運営に当たっては、市町村、関係団体、NPO法人、ボランティア団体等との協力、連携を図りながら進めます。

2. 招待計画

調整中

(1) 招待者の区分及び規模

区 分		内 訳	人数
①中央特別招待者		国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、高知県知事、高知県議会議長、次期開催県知事 等	30 人
②特別招待者	県外特別招待者	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議長 等	220 人
	県内特別招待者	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等	330 人
	小計		550 人
③一般招待者	県外一般招待者	各都道府県森林・林業関係者（都道府県からの推薦者等）	500 人
	県内一般招待者	森林・林業関係者（市町村からの推薦者等）、県内公募による県民 等	720 人
	小計		1,220 人
招待者小計（①＋②＋③）			1,800 人
④実施本部員・協力員等		実施本部員、協力員、出演者 等	1,500 人
合計（①＋②＋③＋④）			3,300 人

3. 招待者行動計画

調整中

時間	全体進行	① 中央 特別招待者 30人	②特別招待者		③一般招待者	
			県外 220人	県内 330人	県外 500人	県内 720人
7:30	おもてなし 広場	宿泊施設	指定集合地等	指定集合地等	指定集合地等	指定集合地等
			順次到着・入場チェック			
			記念植樹・緑化行事			
			おもてなし広場自由見学等			
	到着					
9:45	完全着席	招待者完全着席				
10:30	プロローグ	プロローグ				
11:30	式典	代表者植樹	式典			
12:00	エピローグ	会場出発	エピローグ			
	おもてなし 広場	駅・空港等	おもてなし広場自由見学等			
			順次会場出発			
		駅・空港等	指定解散地	駅・空港等	指定解散地	

※ 式典行事の開始時間や招待者の行動計画は変更となる場合があります。

4. 受付計画

調整中

(1) 受付内容

- ・ 指定場所において、前日又は当日に受付を行います。
- ・ 円滑な受付や記念品等の配布が行えるよう、関係者と連携を図ります。
※招待者別の受付区分等については、別途、宿泊・輸送計画を検討する中で定めます。

(2) 招待者に配布する記念品等

- ・ 全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、高知県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に発信するため、記念品などを配付します。
- ・ 記念品の選定にあたっては、高知らしい県産品の活用を図るとともに、環境に配慮したものとし、遠方からの招待者の持ち帰りやすさにも配慮します。
- ・ 式典の円滑な運営のため、IDカードや記念品等を配付します。

【主な配布物】

全国植樹祭プログラム、IDカード（識別証）、記念品（特産品等）等

5. 特別接伴計画

調整中

特別接伴が必要となる招待者には、実施本部員が次の対応を行います。

項目	内容
中央特別招待者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動は、原則として借上車等の乗用車を使用します。 ・ 式典当日は、出迎えから見送りまで常時サポートします。 ・ 行動を常時把握できる通信連絡体制を整備します。
特別招待者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動は、原則としてバスを使用します。 ・ 式典当日は、出迎えから見送りまで常時サポートします。 ・ 行動を常時把握できる通信連絡体制を整備します。

6. 作品御覧計画

調整中

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び大会ポスター原画作品を展示、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

作品御覧概要

- 【主催】 (公社) 国土緑化推進機構、高知県
- 【開催日】 全国植樹祭開催の前日
- 【出席者】 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者、第78回全国植樹祭大会ポスター原画作者

7. 御懇談計画

調整中

天皇皇后両陛下と、林業の振興や緑化の推進などに功労のあった方々との御懇談の場とします。

御懇談概要

- 【主 催】 高知県
- 【開 催 日】 全国植樹祭開催の前日
- 【出 席 者】 緑化功労者 等

8. 会場内動線計画

調整中

入退場動線図今後作成

9. 会場おもてなし計画

調整中

- (1) 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が安心して快適に過ごせるよう、総合案内所や湯茶接待所、仮設トイレ等を配置します。
- (2) 高知の森林環境保全活動や林業・観光・県産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内、地場産物等を取りそろえた物産提供ブース等を関係団体の協力により設置・運営します。
- (3) おもてなし広場は、出展者等との協力により、ごみの減量化や環境に配慮した運営に努めます。

区分	場所	内容
おもてなし広場	総合案内所	招待者に対する各種案内、情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	湯茶接待所	参加者に湯茶、ミネラルウォーター等の提供
	展示コーナー	高知県内の森林・林業、観光等を紹介
	販売コーナー	高知県内の特産品や飲食物の販売
	休憩コーナー	休憩用テントの設置
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便や宅配サービス



おもてなし広場の様子（第75回全国植樹祭埼玉大会）

10. 湯茶接待計画

調整中

- (1) 招待者、出演者等が快適に過ごせるよう、式典会場に湯茶接待所を設置します。
- (2) 湯茶接待所では、湯茶やミネラルウォーターを提供します。

11. 医療・衛生計画

調整中

(1) 救護所の設置

- ・ 式典会場に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- ・ 救護所には、応急処置セットや休憩用ベッド等を備えます。
- ・ 消防署や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の搬送・受入体制を整えます。

(2) 熱中症対策

- ・ 場内放送で湯茶接待所の案内や、こまめな水分補給を呼びかけ、熱中症に対する注意を促します。
- ・ 救護所には、経口補水液を備えるなど、適切な処置を行える体制を整備します。

(3) 衛生対策

- ・ 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- ・ 食の安全を期すため、宿泊施設や会場内の食品提供施設などへの指導を徹底します。
- ・ 飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺の環境美化に努めます。

12. 消防・防災・警備計画

調整中

(1) 基本的な考え方

- ・ 招待者の安全を確保し、安心して参加できるようにします。
- ・ 消防、警察、その他関係機関との協力体制を築き、密接な連携を図ります。
- ・ 特に危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成するとともに、事前研修を行います。

(2) 消防・防災

- ・ 実施本部の安全衛生部（消防防災・警備班）が中心となり、異常の早期発見、通報に努めます。
- ・ 会場内は、喫煙所を除いてすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- ・ おもてなし広場やサテライト会場の火気使用についても管理を徹底します。

(3) 避難計画

- ・ 避難計画を策定の上、実施本部員等に周知徹底を図り、招待者全員が安全に避難できる体制を整備します。
- ・ 地震発生時には、速やかに収集し、地震の規模や津波発生状況等に応じて、会場となる春野総合運動公園指定の避難所へ参加者を安全に誘導します。

(4) 警備

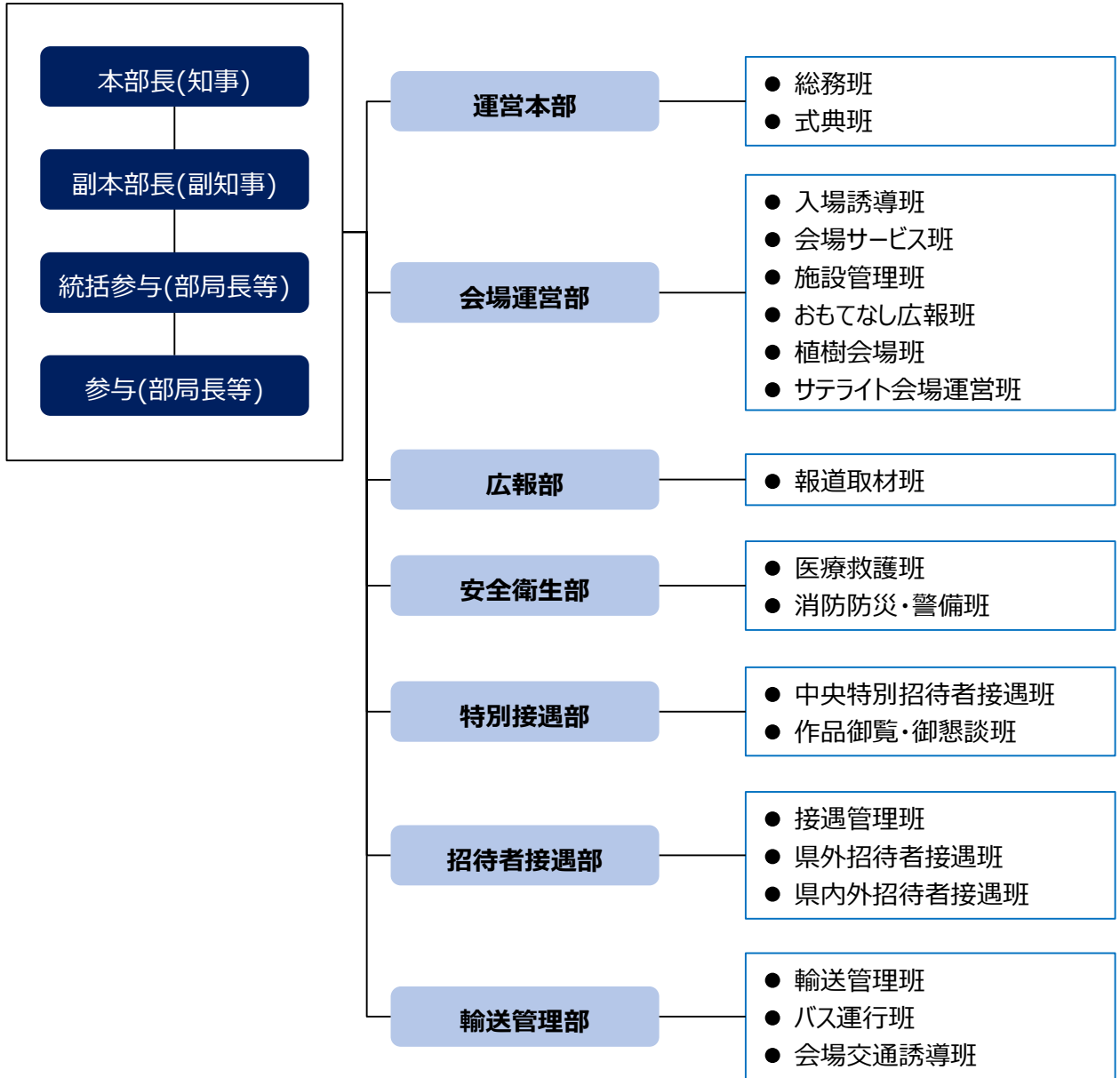
- ・ 会場内での事件・事故を防止し、全国植樹祭の円滑な運営を図るため、警察等の関係機関と協力して警備を実施します。
- ・ 実施本部員等を配置して、警備や招待者の誘導を行います。
- ・ 式典会場入場ゲートでは、入場者のIDカード確認や金属探知機による持ち物検査を行います。
- ・ 式典会場、植樹会場、駐車場等では、式典使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備などを行います。

13. 実施本部計画

調整中

- (1) 円滑な運営を図るための実行組織として、「第78回全国植樹祭高知県実施本部（仮称）」を設置します。
- (2) 県職員、市町村職員などの協力を得て効率的な要員の配置を行うとともに、運営の円滑化及び招待者の安全性や快適性の確保に努めます。

■実施本部体制（案）



14. 研修・リハーサル計画

調整中

- ・ 円滑な運営に向けて、実施本部員・協力員の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- ・ 効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に各班の運営マニュアルを作成します。
- ・ 下記の研修・リハーサル計画に基づき、全員が業務の内容を把握できるようにします。

(1) 実施本部員等の研修計画

実施本部員、協力員の研修は、事前の資料配付、各種説明会及び現地視察、リハーサルへの参加等により実施します。

(2) 研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容	
①	出演者説明会	開催3か月前	未定	出演者（介添え者）	大会概要・参加内容説明
②	式典リハーサル	開催8～6週間前	式典会場	実施本部員・協力員、出演者（介添え者）	式典行事のリハーサル
③	合同説明会	開催6～4週間前	未定	実施本部員	大会全体の説明
④	総合リハーサル	開催1か月前	式典会場 植樹会場	実施本部員・協力員、出演者	全体通しリハーサル、車両・参加者誘導、接遇研修、非常時訓練など
⑤	前日リハーサル	開催前日	式典会場	実施本部員・協力員、出演者	全体通しリハーサル、車両・参加者誘導、接遇研修、非常時訓練など

※ 必要に応じて、個別リハーサルを実施します。

15. 雨天時・強風時対応計画

調整中

- (1) 雨や風の状況に対応した植樹行事計画を策定するなど、雨天時や強風時にも円滑な運営ができるよう準備します。
- (2) 警備上、会場には傘の持ち込みができないため、事前に雨合羽を配布します。

1. 基本的な考え方

- (1) 式典前日、宿泊招待者（主に県外招待者）は、第78回全国植樹祭高知県実行委員会が指定する県内の施設に宿泊することを原則とします。
- (2) 式典当日は、宿泊招待者は宿泊施設から、その他の招待者（主に県内招待者）は県内各地に指定する集合地から、原則として実行委員会が手配するバス等により式典会場等へ移動することとします。
- (3) 宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制等を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- (4) 招待者等の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び交通規制等について綿密な検討を行うとともに、添乗員の配置・案内等により快適な輸送体制を整えます。
- (5) 会場周辺及びアクセス道路沿線の安全を確保し、万全な警備体制を構築します。
- (6) 会場へのアクセス道路沿線には、関係市町村や県民の皆さまと協力しながら美化に努め、県内外からの招待者を歓迎します。
- (7) 高知県の温かいおもてなしの心をもって、無理のない安全・安心な宿泊・輸送体制を整えます。
- (8) 県外招待者の皆さまに、高知県の森林・林業・木材産業や自然、文化、歴史、食等の魅力を体感いただけるようなモデルルートの情報提供などを行い、観光の振興を図ります。



招待者誘導の様子（第75回全国植樹祭埼玉大会）

2. 宿泊計画

調整中

- (1) 植樹行事及び式典行事のスケジュール、道路状況やアクセスなどを総合的に勘案し、適切な宿泊地域や宿泊施設を選定します。
- (2) 宿泊施設は、消防法や食品衛生法等の法令に基づく基準を満たすことはもちろん、緊急時に搬送できる救急病院や緊急時対応者、施設内のAED（自動体外式除細動器）の設置状況を事前に把握し、万が一の事故に備えます。



宿泊施設の様子（第75回全国植樹祭埼玉大会）

3. 輸送計画

調整中

(1) 輸送方針

- ・ 参加者の安全で円滑な輸送を行うため、関係機関と連携を図ります。
- ・ 式典当日の道路混雑等のリスクを想定し、できるだけ最短の移動時間となるルートを設定します。
- ・ 交通事故や渋滞等の不測の事態に備え、代替ルートや迂回ルートの設定を行います。

(2) 関係車両一覧

招待者区分		輸送手段	同乗者
①中央特別招待者		借り上げ車両	接伴員（出迎え・添乗・誘導・見送り）
②特別招待者	県外特別招待者		
	県内特別招待者		
③一般招待者	県外一般招待者		
	県内一般招待者		
④実施本部員・協力員等			

調整中

(3) 駐車場計画

駐車場は、道路交通事情を考慮し、会場内又は会場の近隣地において選定し、確保します。



駐車場の様子（第75回全国植樹祭埼玉大会）

4. 運行管理体制・緊急時対応

調整中

- (1) 輸送管理本部を式典会場周辺に設置し、運行状況を一元的に管理します。
- (2) 車両の運行状況を把握し、安全で円滑な運行体制を実現するため、輸送ルート上に休憩箇所、チェックポイント、計画輸送バス調整地を設けて確実な運行管理を行うとともに、班員を配置します。
- (3) 公共交通機関の運行状況を把握するため、関係機関と連携を図ります。

5. 道路交通対策

調整中

- (1) 会場周辺の道路や招待者の輸送ルートにあたる道路は、事前に道路管理者と協議の上、道路占有許可等の必要な措置を講じます。
- (2) 招待者及び周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行を行うため、関係機関の協力を得て、交通整理、交通規制などを実施します。

1. 基本的な考え方

基本構想で決定済

第78回全国植樹祭の開催理念を広めるとともに、森林環境保全や木材利用の必要性について、県民の皆さまに広く啓発するため、記念事業等を実施します。

2. 記念事業

調整中

全国植樹祭の目的を達成するため、実行委員会等が実施します。

第78回全国植樹祭1年前記念イベント

全国植樹祭の開催1年前の時期に、大会の周知や開催気運の醸成を図るため、記念イベントを開催します。

【開催日】令和9年

【開催地】未定

【内 容】式典、植樹、記念ステージイベント、特産品の展示・販売、森づくり活動のPR

カウントダウンイベント

第78回全国植樹祭開催機運を盛り上げるため、開催200日前などの節目の日（令和9年度中）にカウントダウンイベントを開催します。

区 分	時 期	場 所
200日前	令和9年秋頃	未定
100日前	令和10年冬頃	未定

苗木のスクールステイ

森林や身近な緑への関心を高め、森林保全の大切さを知ってもらうため、全国植樹祭や関連する植樹行事等で使用する苗木を、県内の保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・特別支援学校・緑の少年団の協力により大切に育成しています。

「木製地球儀」巡回展示

第78回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、大会シンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示します。

記録誌の発行、記録映像の作成

第78回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念事業などの取組を、記録誌や記録映像等にまとめ、関係機関等に配布します。

地域植樹

令和9年度（2027年）に県民参加による植樹（地域植樹）を県内6カ所で行います。

3. 関連事業

調整中

第56回全国林業後継者大会

全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業を担う人たちが希望や誇りをもって働き続けられる林業の魅力を全国に発信することを目的に開催します。（昭和45年から全国植樹祭の併催行事として開催）

- 【時 期】 令和10年（2028年）春季（第78回全国植樹祭の前日）
- 【場 所】 未定
- 【内 容】 森林・林業関係者の活動発表、パネルディスカッション等
- 【主 催】 全国林業研究グループ連絡協議会、高知県林業研究グループ連絡協議会、高知県等
- 【後 援】 林野庁、一般社団法人全国林業改良普及協会等

こどもの森づくりフォーラムin高知（仮称）

全国植樹祭の開催を契機に、保育所・幼稚園等における幼児期からみどりに親しむための取組の普及、促進等を図るため、林野庁や公益社団法人国土緑化推進機構と共同して、保育・幼児教育関係者を対象にフォーラム等を実施します。

- 【時 期】 令和8年9月
- 【場 所】 未定
- 【内 容】 基調講演、事例発表、パネルディスカッション等
- 【主 催】 林野庁、公益社団法人国土緑化推進機構、高知県等
- 【後 援】 文部科学省、環境省、こども家庭庁等

1. 基本的な考え方

調整中

- (1) 広報宣伝や協賛募集の活動を通じて、大会の開催意義、開催理念及び内容、大会に向けた様々な取組等について広くPRするなど、開催への機運を高めていきます。
- (2) 広報媒体の特性を活かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。
- (3) 大会テーマ、シンボルマーク及び大会ポスター原画を活用し、第78回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。

2. 広報計画

調整中

(1) インターネット・SNSの活用

第78回全国植樹祭の公式ホームページ及び公式SNSを開設し、様々な取組や関連イベント等に関する情報を積極的に発信します。

(2) 公共広報等の活用

県及び各市町村の広報や広報番組等の公共広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かな情報提供とPR活動を実施します。

(3) マスメディアの活用

テレビ、ラジオ、新聞等、各報道機関との連携を深めるとともに、第78回全国植樹祭や関連事業などに関する情報が広く発信されるよう、情報提供します。

(4) 企業・団体等との連携

シンボルマークやロゴマークの使用を広く呼びかけるなど、企業・団体等の支援や協力による広報活動を通じ、大会開催の周知を図ります。

また、企業・団体等と連携したイベントを通じて、来場者に向けてPR活動を実施します。

(5) 全国植樹祭情報誌等の発行

「第78回全国植樹祭だより」を発行し、大会開催に向けた取組状況や県民参加の森林づくり活動等に関する情報を発信します。

(6) PRグッズの作成・配布等

シンボルマーク等を用いた各種PRグッズを作成し、各種イベントなどで配布することで全国植樹祭の周知と機運の醸成を図ります。

3. 協賛計画

第78回全国植樹祭に向けて、この趣旨に賛同する団体や企業等と協働・連携した開催とするため、県内外から幅広い協力を得る仕組みとして、協賛制度を創設します。

協賛企業等には、第78回全国植樹祭会場や公式ホームページ、記録誌等で協賛者名を掲載するなど、様々な特典を提供します。

(1) 資金協賛

第78回全国植樹祭や各種記念事業等の開催に関わる資金協力を募ります。

(2) 物品協賛

第78回全国植樹祭や各種記念事業等の開催に関わる物品協力を募ります。

(3) その他の協賛

機器等の貸与や役務提供、広報活動等による協力を募ります。



【表紙写真】

① 桂浜

② 足摺岬

③ 千本山

④ カツオ塩たたき

⑤ 高知城

⑥ 伊尾木洞

⑦ 県立甫喜ヶ峰
森林公園

⑧ 吉延の棚田

⑨ 仁淀ブルー

⑩ 坂本龍馬

⑪ ホエールウォッチ

⑫ 四万十川

大会ポスター決定後挿入

第78回全国植樹祭 基本計画（素案）

令和8年3月

第78回全国植樹祭高知県実行委員会事務局
(高知県林業振興・環境部林業環境政策課全国植樹祭推進室)

〒780-8528 高知県高知市丸ノ内1丁目3番30号

電話番号：088-821-4587 ファクス番号：088-802-5542

ホームページ：<https://syokujusai-kochi2028.pref.kochi.lg.jp>

又は「第78回全国植樹祭」で検索してください